Flutter × GraphQL

宣言的モバイルアプリ開発

2025/2/7

吉田航己

吉田航己

Yoshida Koki

株式会社サイバーエージェント モバイルアプリエンジニア

X: <u>@koki8442</u>

GitHub: Illttt06



目次

- 1. GraphQL の概要
- 2. ジャンプTOON の GraphQL 活用
- 3. Flutter で GraphQL を使う利点
- 4. Flutter × GraphQL 開発の工夫
- 5. おわりに

GraphQL とは?

REST の問題を解決するための API クエリ言語およびランタイム

- データを Node と Edge のグラフで構造化し、必要に応じてそのグラフの一部を利用する
- 単一のエンドポイントから必要なデータだけを Query するため、 オーバー(アンダー)フェッチを防げる

2. ジャンプTOON での GraphQL 活用

使用パッケージ

GraphQL クライアント: graphql flutter (graphql)

GraphQL 自動生成関連: graphql codegen

SettingScreen の例

データの取得を Screen 内の useQuery\$Setting で行う <div class="columns"> <div>

```
// setting_screen.dart
class <u>SettingScreen</u> extends <u>HookConsumerWidget</u> {
  const SettingScreen({super.key});
  Widget build(BuildContext context, WidgetRef ref) {
    final isGuestUser = useIsGuestUser();
    final query = useQuery$Setting(options);
    return Scaffold(
      body: GraphQLQueryContainer(
        query: query,
        onLoadingWidget: SkeletonSettingScreen(isGuestUser: isGuestUser),
        onErrorWidget: (error, stackTrace) => ErrorContainer(
          error: error,
          stackTrace: stackTrace,
          onAction: query.refetch,
        child: (data) {
          return SingleChildScrollView(
```

query の定義と自動生成ファイル

```
query を .graphq1 に記述し、 .dart のコードを自動生成する <div class="columns"> <div>
```

```
# setting_screen_query.graphq1
query Setting {
   me {
    id
   }
}
```

</div> <div>

```
// setting_screen_query.graphql.dart
class Query$Setting {
  Query$Setting({
```

Fragment Colocation

コンポーネントとそこで使用するデータ郡(fragment)を1:1対応させ、近くに配置 (参考資料)

```
ui/
    component/
        text/
            user_name_text_fragment.graphql
          — user_name_text_fragment.graphql.dart
           user_name_text.dart
  -screen/
    └─ root/
        └─ my_page/
              - my_page_query.graphql
               - my_page_query.graphql.dart
                mv nade screen dart
```

Flutter × GraphQL の利点

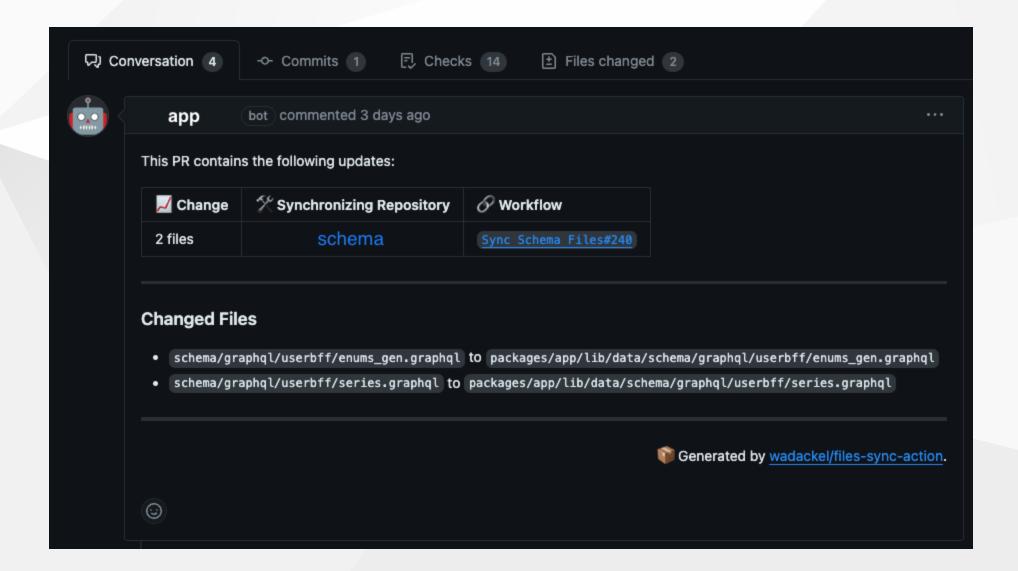
- 1. スキーマファースト開発
- 2. クライアントキャッシュ
- 3. 宣言的 UI との親和性

スキーマファースト開発

最初に GraphQL Schema を定義し、Schema 定義に合うようにコード (API など)を実装する手法

- クライアントーサーバー間のコミュニケーションコスト削減
- API 実装完了前でも Schema からデータをモック可能
- file-sync-action でサーバーでマージした Schema を同期

スキーマファースト開発



クライアントキャッシュ

モバイルアプリにとって個人的に GraphQL を採用する一番のメリット

GraphQL クライアントでは、Query, Mutation などの Operation の結果を**正規化**してキャッシュ。正規化は以下の 3 ステップで行われる。

- 1. Operation 結果を分割して個別のオブジェクトにする
- 2. 分割したオブジェクトに一意の key をつける
- 3. それぞれのオブジェクトをフラットに保存する

クライアントキャッシュ

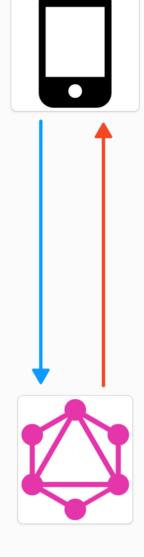
<div class="columns"> <div>

```
# リクエスト
query {
 comics {
   id
   title
    episodes {
     id
     title
```

</div> <div>

3. Flutter × GraphQL の利点

```
query {
  comics {
   id
  title
  episodes {
   id
   title
  }
  }
}
```



```
Comics: [
 id: 1,
 _typename: "Commics",
 title: "WebToon Title",
 episodes: [
   id: 1,
   _typename: "Episodes",
   title: "Revenge",
   id: 2,
   _typename: "Episodes",
   title: "Imagination",
```

```
Comics:1
                          id: 1,
                          _typename: "Commics",
                          title: "Webtoon Title",
                          episodes: {
                           [0]: { __ref: "episodes:1"},
                           [1]: { __ref: "episodes:2"},
                         Episodes:1
                          id: 1,
Normalization
                          _typename: "Episodes",
                          title: "Revenge",
                         },
                         Episodes:2
                          id: 2,
                          _typename: "Episodes",
                          title: "Imagination",
                         },
                                                         14
```

3. Flutter × GraphQL の利点

クライアントキャッシュ

キャッシュの更新、保存を自動で GraphQL クライアントが行う

useQuery を使用している Widget は別の Query や Mutation でのキャッシュの更新に伴って UI も自動で更新される

宣言的UIとの親和性

データを元に UI を構築する宣言的 UI は、 GraphQL クライアントのキャッシュ機構との親和性が高い。

ある Operation で正規化されたキャッシュデータが更新されると、 それを参照しているすべての UI が更新されるため。

RESTでは同じことは出来ないの??

宣言的UIとの親和性

- Redux の公式ドキュメント Store データの正規化
 - → 正規化を手動で行う必要がある。GraphQL はデータの構造が Schema に **Graph** として表現されているため機械的にこれができ る。
- React の TanStack Query や SWR
 - → 基本的に URL を key としてキャッシュするため、個々のデータ に分割してキャッシュされない。
 - → Flutter にはこれらにインスパイアされた <u>fQuery</u> がある。

3. Flutter × GraphQL の利点

おわりに

詳細はこちら

参考文献

- GraphQL
- Caching in Apollo Client
- Demystifying Cache Normalization
- Normalizing State Shape
- GraphQL Client Architecture Recommendation 社外版
- 宣言的UIの状態管理とアーキテクチャSwiftUIとGraphQLによる実 践/swiftui-graphql